



例会:毎週水曜日 12:45~ 例会場:勇屋会館 事務所:安曇野市豊科 4312-6 奥村ビル2F

RI 会長メッセージ

TEL:0263(73)2901

FAX:0263(72)3181

E-mail :azumirc@poppy.ocn.ne.jp

持続可能な インパクトを 生み出そう

ガバナー公式訪問

会 長 二木 正之 幹 事 丸山 慶四郎

R.I 会長 オラインカ・ハキーム・ババロラ (トランス・アマディ RC)

ガバナー 橋上 信久 (飯田南 RC)

中信第一グループガバナー補佐 竹内 直彦 (大町 RC)



★配布・幹事報告No.5

★回覧・会報 No.1755 ・8月,9月,10月出席確認表

・3友好クラブ二次会出席確認表

★ゲスト・RI 第 2600 地区 ガバナー 橋上 信久 様

・飯田南ロータリークラブ 阿部 康隆 様

・中信第一グループガバナー補佐 竹内直彦 様

・米山奨学生 ブーティーユアンさん

★ 会長挨拶

【二木正之会長】

皆さん、こんにちは。

本日は、国際ロータリー第 2600 地区 橋上信久ガバナーをお迎えしての公式訪問例会でございます。

橋上ガバナーにおかれましては、大変お忙しい中、あづみ野ロータリークラブへお越しいただき、誠にありがとうございます。会員一同、心より歓迎申し上げます。

さて、つい先日(8月15日)の81回目の終戦の日を迎えました。

戦争を実際に体験された方々が年々少なくなる中、その記憶や経験、そして平和への思いを、どのように次の世代へ伝えていくのか。

これまで以上に大切なことになっていると感じています。

そして、この「次の世代へつなぐ」ということは、平和の問題だけではなく、地域や企業、そして私たちロータリーについても同じではないでしょうか。

私たちが先輩方から受け継いできたものを、ただ守るだけではなく、次の世代へ伝え、その世代がさらに次へつないでいく。

その積み重ねが、地域の力となり、ロータリーの力となっていくのだと思います。



2026-27 年度、RI 会長 オラインカ ハキーム ババロラ氏は、「Create Lasting Impact」

日本ロータリーでは、

「持続可能なインパクトを生み出そう」

というメッセージを掲げています。

私は、この言葉には、単にその時だけ成果を上げるのではなく、私たちの活動が、その後も人の心や地域の中に残り、次の行動へとつながっていくことが大切だという意味が込められているように感じています。

一つの奉仕活動が一人の人生を変える。

一つの出会いが、その人の考え方をを変える。

そして、その一人が、また次の誰かに影響を与えていく。

そうしたものがこそ、ロータリーが生み出す「持続可能なインパクト」ではないでしょうか。

そして橋上ガバナーは、今年度の地区テーマとして、

「COMEBACK TO SHINSHU」

を掲げておられます。

私は、この言葉も大変印象深く受け止めています。

進学や就職で一度信州を離れた若い人たちが、外でさまざまな経験を積み、いつの日か信州へ戻ってくる。

あるいは、たとえ住む場所は離れていても、信州とのつながりを持ち続け、何らかの形でこの地域に関わってくれる。

そうした若い人たちを一人でも多く育てていくことが、これからの信州にとって、とても大切なことだと思います。

そして、そこに私たちロータリーができることがある。

その一つが青少年奉仕であり、RYLA ではないかと私は考えています。

次年度、私たちあづみ野ロータリークラブは、その RYLA を主幹いたします。

RYLA に参加した若者たちが、仲間と出会い、ロータリアンや地域の大人たちと出会い、自分の将来について考える。

そして、自分たちが暮らす地域についても、あらためて考えてみる。

その経験がすぐに何かの答えにつながらなくてもいいと思います。

何年後、人生のどこかで、

「自分もこの地域のために何かしてみよう」

「もう一度、信州に戻って仕事をしてみよう」

「信州と関わり続けていきたい」

そんな思いにつながってくれたなら、それこそが RYLA が生み出す「持続可能なインパクト」であり、同時に「COMEBACK TO SHINSHU」につながっていくのではないのでしょうか。

私たちは、決して大きなクラブではありません。

しかし、小さなクラブだからこそ、一人ひとりが役割を持ち、全員で力を合わせることができます。

私は次年度の RYLA を、単に一つの行事を無事に終わらせるだけのものにはしたくありません。

参加した若者が何年後に、

「あの RYLA に参加したことが、自分の人生の一つのきっかけだった」

そう思ってくれるような RYLA にしたい。

そして地区の皆様からも、

「あづみ野ロータリークラブが主幹で本当に良かった」

そう言っていただけの RYLA にしたいと思っています。

そのためには、私たちのクラブだけの力では十分ではありません。

橋上ガバナーをはじめ、地区の皆様、そして各クラブのロータリアンの皆様にも、ぜひお力をお貸しいただきたいと思っています。

次年度の事業ではありますが、準備はすでに始まっています。

私自身、会長として、そして RYLA を主幹するクラブの一員として、会員の皆さんと一緒にしっかり取り組んでいく決意でおります。

「Create Lasting Impact」

「持続可能なインパクトを生み出そう」

そして、

「COMEBACK TO SHINSHU」

若い世代が信州を知り、信州を好きになり、いつの日か、

「信州に戻りたい」

「信州のために何かしたい」

と思ってくれる。

そのきっかけの一つを、私たちロータリーがつけることができたら、大変素晴らしいことだと思います。

本日の公式訪問を、橋上ガバナーからご指導をいただくだけでなく、私たち自身がクラブのこれからを見つめ、地域や次の世代に何を残していくのかを考える一日にしたいと思います。

橋上ガバナー、本日はどうぞ忌憚のないご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

以上、会長挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

★ 幹事報告

【丸山慶四郎幹事】

別紙参照



◇出席報告

会員総数 17 名 出席免除会員数 1 名	
本日の出席率	前々回(7月29日修正出席率)
出席者: 10 名	欠席者: 4 名
欠席者: 6 名	メーキャップ: 1 名
出席率: 63%	出席率: 82%

★ ニコニコ BOX 報告 (敬称略・順不同)

二木: よろしく願いいたします。

丸山(慶): 2600 地区ガバナー橋上様、飯田南 RC ニコニコ出席委員長阿部様、中信第一グループガバナー補佐竹内直彦様をお迎えして宜しくお願い致します

赤羽: 橋上ガバナー飯田南阿部さん、竹内ガバナー補佐をお迎えして

小穴: 橋上ガバナー様、阿部様 竹内ガバナー補佐様、よろしく御指導下さいませ!

笠原: ガバナー御一行様 猛暑の中ありがとうございます

下里: 橋上ガバナーをお迎えして

中村: 橋上ガバナー、阿部飯田南 RC ニコニコ出席委員長竹内ガバナー補佐をお迎えして。

濱: 橋上ガバナー 中信第一 RC 竹内ガバナー補佐飯田南 RC 阿部ニコニコ出席委員長 ようこそ!!

場々: ご来賓をお迎えして

藤森: 橋上ガバナー、竹内ガバナー補佐 飯田南 RC 阿部様本日はご指導よろしくお願い致します。

[計 10 件 28,000 円]

今年度のニコニコ BOX 計 177,000 円

【 下里守クラブ奉副委員 】



《会長幹事懇談会》



【小穴実 SAA 委員長・笠原明仁プログラム委員長】



★本日のプログラム

ガバナー講話

・国際ロータリー第2600地区ガバナー 橋上信久様
(飯田南ロータリークラブ)

自己紹介

橋上 信久 (妻) 月子
生年月日 1958年1月28日
所属クラブ 飯田南ロータリークラブ
職業分類 老人福祉事業
勤務先 医療法人 健生会
役職 理事長
所在地 千393-0303長野県下伊那郡阿智村駒場124-1
電話 0265(43)4848
FAX 0265(43)4747
Mobile 090-3063-2999
E-mail nhashigami@allen-heim.com
自宅 飯田市南中平
ロータリー歴
入会年月日 2001年1月5日
2004-2006 米山力カウンセラー
2009-2010 地区青少年交換委員
2016-2017 クラブ幹事
2020-2021 クラブ創立55周年会長
2024-2025 下伊那グループガバナー補佐
ロータリー財団マルチプルフェロー・米山功労者



職歴 1981 橋上病院 事務長
1994 医療法人 健生会 常務理事
2008 老健施設アルデンハイム会地の郷 施設長
2019 医療法人 健生会 理事長

趣味 車・ドライブ・歴史・旅行・グルメ・ゴルフ
歌舞伎観劇・スポーツ観戦・美術博物館めぐり
動物園めぐり
阪神タイガース

本大会前夜祭



総勢千数百名、ほぼホテル貸し切り状態での世界のロータリアンとの前夜祭が、RI会長始めRI会長エレクト、RI理事そしてガバナーエレクトが一堂に会してホテルの中庭で行われました。

偶然にも通りかかった今年度RI会長ババロラ夫妻と記念撮影に成功。



コフオートメンバーとの昼食会
米国のドン・ウェットモアGEとベターカードン氏にドイツのゲサ・フォルクGE夫妻、同期GEの中島君



午後の分科会
インドのGEカーマ・エガシー氏始めドイツ、オランダのGEと共に分科会とインドネシアのGEラスマナ・センタリウス氏を交えた分科会、国際的

DELIVER ON THE PROMISE 約束を果たす夕食会

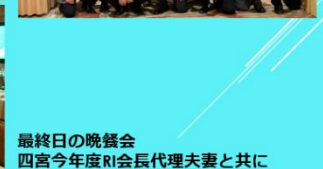


フランチェスコ・アレツォ
前RI会長とのツーショット



この日の夕食会は皆END POLI NOWの赤Tシャツを着て参加

最終日総会終了時と午後の分科会終了時の記念撮影



最終日の晩餐会
四宮今年度RI会長代理夫妻と共に

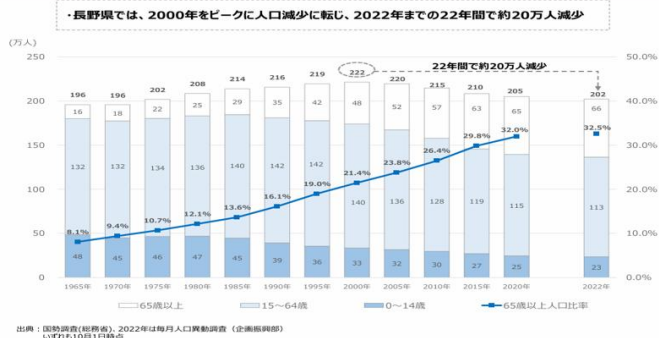
2026-2027年度RI第2 6 0 0地区運営方針

COMEBACK TO SHINSHU

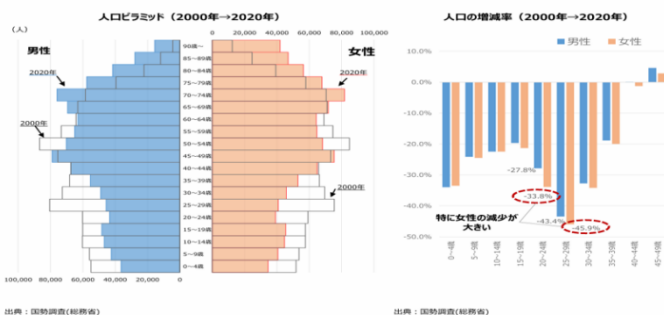
次世代に向けて魅力ある「ふるさと信州」の環境づくりを新たな発想で、考え行動しよう！

COMEBACKには大切なものを思い出す
もう一度挑戦する、振り返る
さらに良くなって帰ってくる
復活や再起という結果や状態などの意味があります

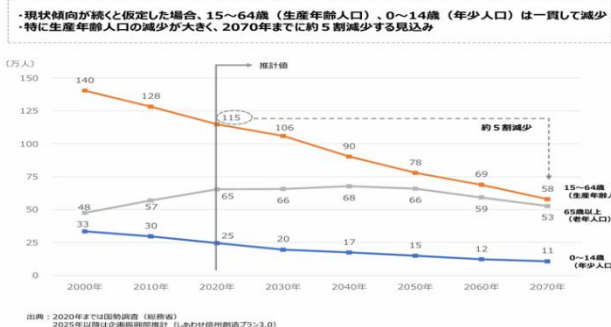
長野県の人口の推移



長野県の人口構造の変化



将来人口推計(長野県：現状推移ケース)



私たちロータリアンの知識経験を生かし進学後に戻ってこない青少年や、その親世代を地元へ引き戻し留め、更に地元から離れている人達や地方の人達に新たな興味を持ち戻ってもらえる、来てもらえる様に行動を起こしましょう。

内なる変化 会員増強 退会防止

ロータリーの行動計画



ロータリークラブに入会したものの、その価値を十分に感じられず退会をを考えてしまうケースは少なくありません。しかし、ロータリーは本来「大人の学園」であり、自ら積極的に関わること、ビジネスや人生を豊かにする絶大なメリットを享受できる場所なのです。

どうかその素晴らしさに気づき感じて下さい。

将来身近なロータリアンに成り得る金の卵・原石たちを発見発掘し、故郷信州に帰って来てもらう、興味を持って来てもらうための活動を行いましょう！

ロータリアンのスキルを活かした「キャリア・メンタリング」

職業スキルの共有と指導

ロータリアンは多種多様な専門知識や経営スキルを持っています。Uターンを検討する若い職業人に対し地元のビジネスリーダーである会員がメンター(相談役)となり、職業指導やスキルの伝承を行うことで、地元でのキャリア形成に対する不安を解消し、入会への大きな動機付けとなります。

ビジネスネットワークの提供

ロータリーは「ネットワークの元祖」であり、地元の有力な職業人と出会う絶好の機会を提供できます。若い世代にとって、地元での人脈作りや未知の領域の勉強ができる場としての魅力を強調することが有効です。

家族を大切に文化の活用

家族参加型の活動

若い世代は家族との時間を重視します。クリスマス会、遠足や旅行など「〇〇家族会」などの親睦行事を増やレパートリーや子どもを招待し、家族の理解と協力を得られるオープンな環境を作ることで、家族地域に根差した活動としての安心感を提供できます。

デジタルを活用した公共イメージの刷新

SNSによる積極的な情報発信

若い世代はソーシャルメディア(SNS)を日常的に利用しています。ウェブサイトだけでなく、FacebookやInstagram等で具体的に目に見える奉仕活動の成果や、クラブの楽しそうな雰囲気発信し、ネット上の「顔」を整えることが、入会候補者との接点を作る鍵となります。

「地域社会への貢献」を通じた関心の喚起

感動を呼ぶプロジェクトへの招待

ロータリー入会の最大の理由は「地域社会への貢献」です。まずは会員として勧誘するのではなく、地元の課題解決に取り組む奉仕プロジェクトにボランティアとして招待し、実際に活動を体験して感動を共有してもらうことが、関心を持ってもらう近道です。

若い人材を取り込む

インターアクト・ローターアクトとの交流援助と設立協力

地域の高校や大学などにボランティア活動を行っている団体やクラブ活動や部活があるカリサーチを行い、顧問の先生なり代表がいれば、そこへインターアクトやローターアクトのプレゼンを行い創設まで持っていく。

退会を思いとどまり、自分自身が楽しみながら新しい仲間を増やすための秘訣

1. 「自分から積極的に楽しむ」ための4つのポイント

ロータリーを単なる「義務」ではなく「人生のオアシス」にするには、以下の姿勢が大切です。

「3つの基本ルール」を即実践する：良いロータリアンへの近道は、「時間の勘行」「出欠の返事は速やかに」「頼まれたNOと答えない」という3点を守ることです。特に、依頼に対して「ハイ」「イエス」「喜んで」と応える姿勢が、周囲からの信頼と新たなチャンスを引き寄せます。

「親睦」と「奉仕」を両輪で楽しむ：ベテラン会員も新入会員も例会に出席して食事をするだけで得る「食い逃げ会」(Eat and Run Member)になってはいけません。特に新入会員に対しては課外感、孤独感を与えないような配慮を周りが積極的に行い、例会以外でも委員会活動や同好会に進んで参加し誘い合い、損得勘定のない「同志的な友情」を深めることが、クラブを底心地の良い場所にする鍵です。

「四つのテスト」を日常に活かす：言行が「真実か」「公平か」「好意と友情を深めるか」「みんなのためになるか」を問う「四つのテスト」を、自身の職業生活の基盤にします。これにより、職業倫理が高まり、周囲から尊敬されるリーダーへと成長できます。

メークアップ(欠席補填)で視野を広げる：自クラブだけでなく、他クラブの例会に出席できる「メークアップ制度」を活用しよう。世界中のクラブを訪問できる特権を使い、新しい発見や国際的な人脈を得ることで、ロータリーのスケールの大きさを実感できます。

2. 「早期退会」を防ぎ、定着するためのマインドセット
日本のロータリーは「高齢化・高コスト・運営の硬直化」という課題を抱えていますが、それを乗り越える価値があります。

「大人の学び舎」と捉える：ロータリーは、多様な職業のリーダーと競争なしに付き合える唯一無二の場所です。利害関係のない仲間と切磋琢磨することで、「自分自身の中の良い変化(成長)」を生み出すことができます。

やりがいのある奉仕活動に参加する：子ども食堂や地域の清掃など、直接「ありがとう」と言われる活動に積極的に関わります。目に見える成果と感謝が、入会して良かったという実感(満足度)につながります。

3. 「新たな会員を呼び込む」ための戦略的アプローチ

会員増強は、クラブの活力を維持するために不可欠な活動です。

「クラブビジョン」を共有する：「いつまでに、どのような規模で、どんな活動をしたいのか」というクラブの目指す姿を全員で議論し、腹落ちさせることが第一歩です。目標が明確になれば、勧誘への熱意も生まれます。まずは、時の会員幹事が積極的に勧誘活動を行いましょう。

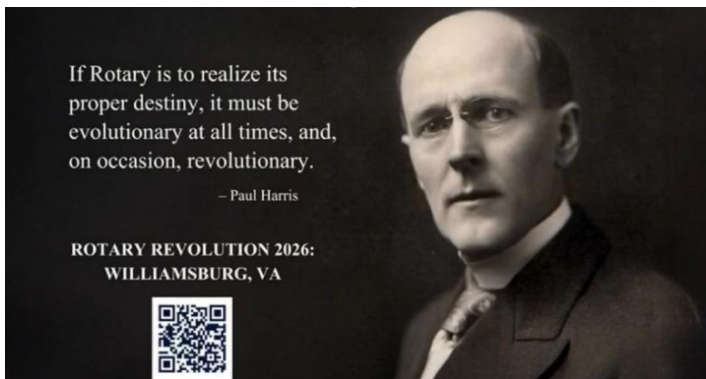
「三種の神器」を携行する：常に「入会申込書」「クラブのプロフィール」「ロータリーの解説資料」をセットで持ち歩き、チャンスを逃さないようにします。

「相手のためになる」勧誘を行う：単なる人数合わせではなく、「ロータリーに入ることが、いかに候補者自身の成長や人生の充実と役立つ」を誠意と情熱を持って伝えます。

多様性(DI)を重視する：若手や女性会員を積極的に迎え入れる体制を整えましょう。多様な価値観が溢れ合うことで、クラブに新しい活気が生まれ、さらなる入会者を惹きつける魅力となります。

ロータリーは

「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という精神で成り立っています。まずはあなた自身がルールを理解しつつ楽しみ、誰よりも活発に活動することで、その輝きが自然と新しい会員を呼び寄せる磁石となるはず。会員でいるということに意味を見出せずつまらないと思っている原因は、あなた自身にあるのかも……



この動画の最後に、ポールハリスが語っている言葉を、あらためて敬意を持って載せて頂き、皆さんのクラブでの一年間のご活躍を心より期待し、お祈り申し上げます。

*If Rotary is to realize its proper destiny ,
it must be evolutionary at all times , and ,
on occasion , revolutionary .*

ロータリーが、その本来の使命を果たすためには、常に進化を続け、時には革命的变化を起こさなければならない。

